

22. ^{99m}Tc -hexamethylpropyleneamine oxime を用いた脳血管障害例の
脳血流シンチグラフィ陣之内正史他...905
23. ^{99m}Tc -hexamethylpropyleneamine oxime を用いた脳腫瘍例の
脳血流シンチグラフィ星 博昭他...905
24. $\text{Tc-}^{99m}\text{HM-PAO}$ 脳血流シンチグラフィの臨床評価
——ポジトロン CT との対比検討——矢 有一他...906
25. ポジトロン CT による脳腫瘍における crossed cerebellar diaschisis の検討桑原 康雄他...906

一般演題

1. 高感度 PTH 測定法の基礎的検討ならびに臨床的有用性

大浪 俊平 仲山 親 黒田 環
寺田 朋子 中田 肇 (産業医大・放部)
江藤 澄哉 (同・一内)

最近開発された PTH の高感度測定法(ヤマサ醤油)による血中 PTH 測定法の基礎的および臨床的有用性について検討した。

対象は慢性腎不全48例, 原発性副甲状腺機能亢進症3例, 副甲状腺機能低下症3例で, 84例の健常人より得られた血清を正常コントロールとした。

健常者84例の PTH 値は $0.42 \pm 0.17 \text{ ng/ml}$ であった。一方, 3例の副甲状腺機能低下症患者では, $0.13 \sim 0.26 \text{ ng/ml}$ と低値を呈した。従来法(栄研, C 端 PTH)では鑑別が困難であった測定感度以下の低濃度血清 PTH の症例でも観察が可能となった。

2. バセドウ病 T_3 抑制試験と T_4 , TBIAb, TsAb

芦澤 潔人 和泉 元衛 井上 修二
森本 勲夫 岡本 純明 長瀧 重信
(長崎大・一内)

T_3 抑制試験 (T_3 投与前後での ^{123}I 甲状腺摂取率の比較) はバセドウ病の抗甲状腺剤治療の中止の判定の指標とされている。今回 T_3 抑制試験と T_4 , TBIAb, TsAb との関係および本症の再発の状況について検討した。(1) ^{123}I 摂取率, T_4 , TBIAb, TsAb にはそれぞれ相関がみられたが, 解離している例もあった。しかし T_4 の前後の

比が 100% 以上, TBIAb 15% 以上, TsAb 125% 以上の例は全て T_3 抑制試験後 ^{123}I 甲状腺摂取率は, 前値より 50% 以下に抑制される例はみられなかった。(2) T_3 抑制試験後 3~4 年にわたる follow-up では, ^{123}I 甲状腺摂取率が 50% 以上抑制された例, T_4 が前値より低下した例では再発した例はみられなかった。

3. 沖縄県における甲状腺癌の I-131 治療——特に治療前後のサイログロブリン値について——

勝山 直文 高野 英行 諸見里秀和
宮川 国久 尾崎 正時 末山 博男
関谷 透 中野 政雄 (琉球大・放)

昭和59年12月より現在まで, 7例の甲状腺癌の転移巣に対し, 計13回の I-131 治療を施行した。年齢は9歳から65歳で, 男2例, 女5例である。転移巣は骨4例, 肺4例, リンパ節2例で, うち重複転移は3例である。I-131 の投与量は $60 \sim 190 \text{ mCi}$ である。サイログロブリン値 (TG) は I-131 投与直前, 投与後および甲状腺剤投与時について測定した。I-131 投与直前の TG 値は, 甲状腺剤投与時の TG 値より高く, また I-131 投与後の TG 値は経目的に上昇を認める症例が多かった。このことは腫瘍の TG 産生能および I-131 治療後の腫瘍からの TG 放出状態を表していると考えられる。したがって, I-131 治療前後の TG 測定は治療の効果判定に有用な方法と考える。